

「船・7」 「船・8」

“Ship・7” “Ship・8”

小 野 一 郎

今、船に惹かれています。
その昔、石炭の積み出しで栄えた港、若松、その岸壁に
波にもまれて、きしみゆすりあっている赤さびた船体、

そこに住んでいる人々の哀歓と、歳月を刻みこんだ船腹、
そんなものを描きたいとねがっています。



第5回九月会展 船・7 30・P

小 野 一 郎



第5回九月会展 船・8 30・P